

永井地区 まちづくりの会 情報紙

第 26 号

発行日：平成 31 年 1 月 31 日

発行人：永井地区まちづくりの会
お問い合わせ先

会長 兼平 孝信

TEL：019-637-0949（ファックス共通）

永井地区まちづくり情報紙を発行しています。

永井地区の住環境を、地域住民みんなで考えていけるように、永井地区まちづくりの会の活動報告、地域の現状、その他まちづくりに関する情報をお届けします。安全、安心で住みよい永井地区を目指しています。

どうぞ関心を持ってお読みいただきますようお願いいたします。

鴨助堰の改修

暗渠（幅 2.5m 高さ 1.5m）

開渠（幅 2.7m 高さ 1.5m）



大黒食堂付近の鴨助堰

改修済風景
（永井 24 地割付近）

鴨助堰の改修は平成 22 年度から始まり開渠部分（平成 32 年度以降施工予定）を除いて平成 31 年度完成を目指して作業が進められています。流量も計算され 2013 年のように溢れることは無くなると思われます。市道高橋線も国道から多賀神社前まで拡幅され水路は暗渠になり危険が無くなりとても良くなりました。都市計画道路津志田・白沢線の延伸工事も進んでいます。

《今号の主な内容》

2・3面：

☞ 永井地区 防災意識アンケート調査の集計結果

4 面：

☞ 地域情報

自分の命は自分で守る（自己判断ができるように日頃の訓練が大事です）

備える

日頃から防災への取り組みを家族や地域で確認しておくことが大事です。また、自主防災訓練に参加することをお勧めします。(体験の有無で大きな差が出ます)

- ◎家族との連絡方法
- ◎避難場所(実際に歩いて見ておくことが大事です)
- ◎家の内外の危険防止策をとる(家具・窓・屋根等)
- ◎非常時用リュックはすぐに持ち出せ所におく

考える

防災に関しては、普段から(～だったら、こうしよう)と考えておく、習慣を持ちましょう。

もしも仕事などで出掛けていた時に災害に出会ったら

その地区の避難指示に従うこと。避難所に着いたら、会社や家族に連絡をとる。

持ち物の欲ばりは止めましょう。貴重品、薬など決めておくとうい。

◎家のとじまりチェック(リストなど作ってあれば安心です)

知る



正しい情報を得ることは最も大事です。

携帯・ラジオは必携です。(電池・充電器も忘れずに)

人の話はたくさん聞こえてきますが、正しいと思うものを選ぶのは自分です。

行動は自分の判断で動いていることを忘れないでください。

●アンケート集計結果をまとめました。

これをご覧になって、改めて《もしもの時》をお考えいただければと思います。

古事曰く「^{いわ}備えあれば憂いなし」です。

■配布部数と回収数及び回収率

自治会	配布	回収数	回収率
上永井	458	287	62.7%
中永井	901	449	49.8%
下永井	1,554	553	35.6%
全 体	2,913	1,289	44.2%

複数選択が可能な設問は、回収世帯数を母数として割合を計算しています。

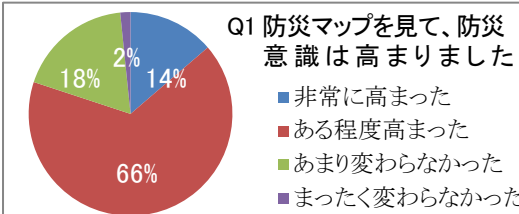
対象となる設問はQ2の具体的内容とQ3の2問です。その他の設問は各設問の合計数を母数としています。

Q1 防災マップを見て防災意識は高まりました

非常に高まった	169	13.7%
ある程度高まった	819	66.4%
あまり変わらない	226	18.3%
まったく変わらない	20	1.6%
合 計	1,234	100%

「非常に高まった」「ある程度高まった」が 80%と、高まったという回答が大多数を占めています。

住民の生活に直接かわる問題だけに、幅広い世代で関心が高いことが推測されます。



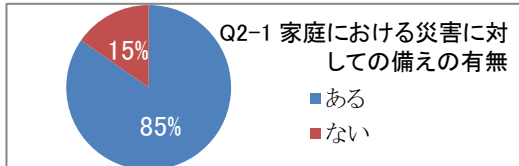
各項目にアドバイザーのコメントをいただきました。

一口メモ

- ・危険を感じたら、すぐに安全な場所に避難する。
- ・避難勧告、避難指示等が出された場合は消防団員の指示に従う。
- ・荷物は背負う(リュック)が良い。杖は役にたつ。
- ・子ども・高齢者・病気の人の避難には協力しましょう。

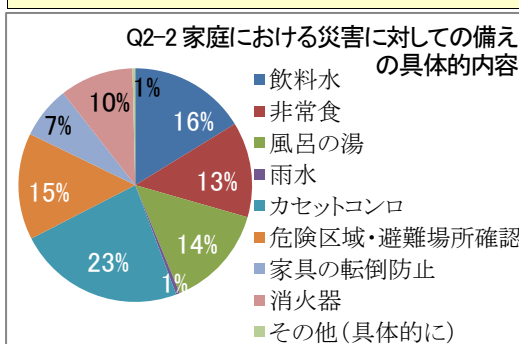
Q2-1 家庭における災害に対する備えの有無		
ある	990	84.7%
ない	179	15.3%
合 計	1,169	100.0%

84.7%と何かしらの備えはあることが伺えます。



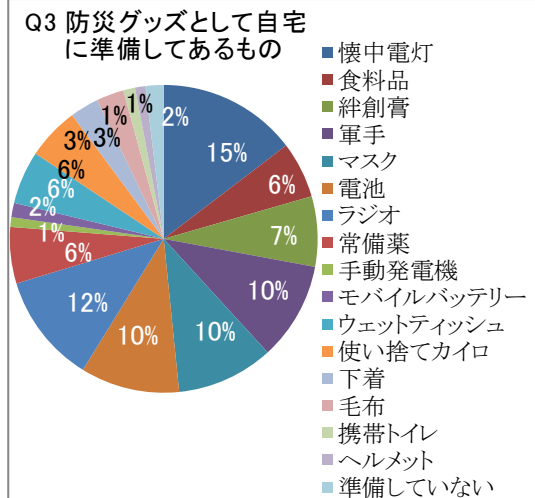
Q2-2 家庭における災害に対する備えの具体的内		
飲料水	508	16.2%
非常食	413	13.2%
風呂の湯	449	14.3%
雨水	16	0.5%
カセットコンロ	724	23.2%
危険区域・避難場所確認	462	14.8%
家具の転倒防止	226	7.2%
消火器	319	10.2%
その他(具体的に)	12	0.4%
合 計	3,129	100.0%

カセットコンロ、飲料水、危険区域・避難場所の確認が上位3項目となっています。日常的にそろえてあるものが多いのが特徴といえます。



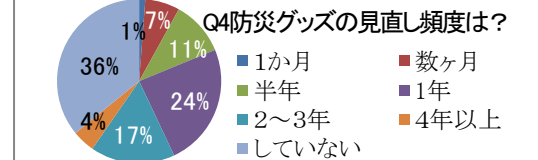
Q3 防災グッズとして自宅に準備してあるもの		
懐中電灯	953	14.6%
食料品	385	5.9%
絆創膏	481	7.4%
軍手	670	10.3%
マスク	664	10.2%
電池	678	10.4%
ラジオ	750	11.5%
常備薬	386	5.9%
手動発電機	66	1.0%
モバイルバッテリー	98	1.5%
ウェットティッシュ	364	5.6%
使い捨てカイロ	359	5.5%
下着	197	3.0%
毛布	189	2.9%
携帯トイレ	80	1.2%
ヘルメット	71	1.1%
準備していない	124	1.9%
合 計	6,515	100.0%

懐中電灯、軍手、マスク、電池、ラジオが高い傾向にあります。



Q4 防災グッズの見直し頻度は？		
1か月	13	1.2%
数ヶ月	73	6.8%
半年	115	10.7%
1年	259	24.2%
2～3年	178	16.6%
4年以上	48	4.5%
していない	384	35.9%
合 計	1,070	100%

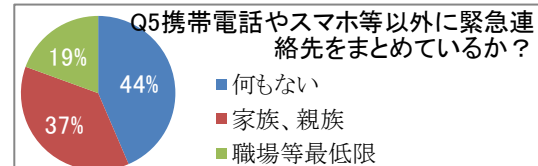
一番多いのは「見直しをしていない」が35.9% ついで1年に一度、2～3年に一度と続きます。年末の大掃除のなど、1年に一度は内容の確認をするようにしたいですね。



Q5 携帯電話やスマホ等以外に緊急連絡先をまとめているか？

何もない	580	43.6%
家族、親族	493	37.0%
職場等最低限	259	19.4%
合 計	1,332	100%

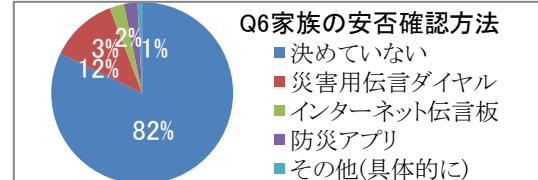
何も準備していない世帯が 43.6%と、半数近くが準備していないという結果でした。携帯やスマホ等電子機器は、バッテリーが切れた場合はデータを確認できないので、紙媒体で一つは準備しておきたいところです。



Q6 家族の安否確認方法

決めていない	991	82.9%
災害用伝言ダイヤル	145	12.1%
インターネット伝言板	31	2.6%
防災アプリ	29	2.4%
合 計	1,196	100%

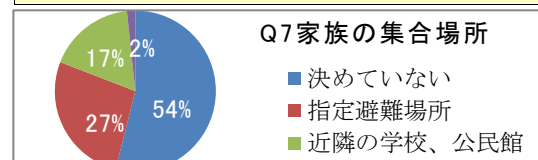
決めていないが82.9%です。大多数はその方法を決めていない現状が確認できます



Q7 家族の集合場所

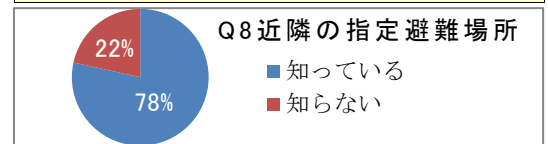
決めていない	708	54.0%
指定避難場所	353	26.9%
近隣の学校、公民館	229	17.5%
近隣の公園、広場	22	1.6%
合 計	1,312	100%

決めていないが 54%と半数を超えています。浸水被害ではない、地震等の大規模災害の場合は電子機器の利用ができないことも想定されます。あらかじめ家族で決めておくとういでしょう。



Q8 近隣の指定避難場所		
知っている	958	78.5%
知らない	263	21.5%
合 計	1,221	100%

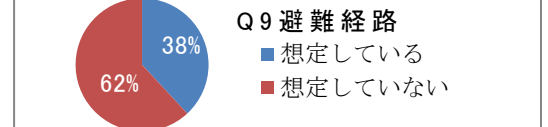
知っているが78.5%です。大多数の世帯は指定避難場所を認識していることが分かります



Q9 避難経路

想定している	360	38.1%
想定していない	585	61.9%
合 計	945	100%

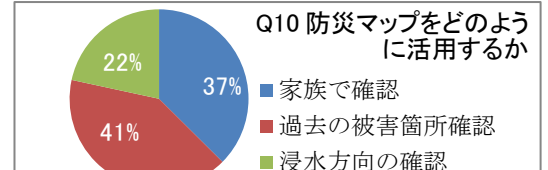
想定している世帯 38.1%と低い水準。防災マップの配布を機会に、住んでいる地域はもちろん、勤務先でも想定してみるとよいでしょう。



Q10 防災マップをどのように活用するか

家族で確認	506	37.5%
過去の被害箇所確認	553	40.9%
浸水方向の確認	292	21.6%
合 計	1,351	100%

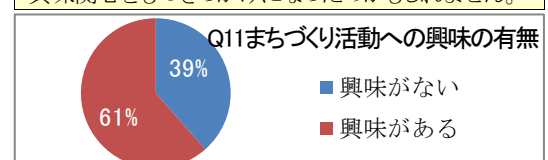
浸水被害箇所の確認がもっとも多い結果となっているが、これに加えて避難経路や避難場所の確認がさらに重要である。



Q11 まちづくり活動への興味の有無

興味がない	439	38.5%
興味がある	701	61.5%
合 計	1,140	100%

興味があるが61.5%と、半数を超える結果でした。これまでに全戸配布のアンケートを数回実施している中でも多い傾向です。まちづくりの活動内容が具体的にみえることや実生活につながる等が、興味関心をもつきっかけになったのかもしれません。



地域情報

永小フェスティバル

平成30年10月6日

あら〜 屋台

「おやじの会」初出店

メニューは

ヤキソバ、フランクフルト、飲み物

まちづくりの会アドバイザーの

PTA 会長大志田さんも大奮闘

おいしかった？
ホント？やった
あー！！



永井地区は耳をすませば一年を通して伝統芸能の太鼓や鐘の音、教えの声が聞こえます。秋の一日親子で楽しめる場所がありました。また、わくわくを予感させる看板やジュンペリーの街路樹が整いました。

●永井地区さんさ踊り



永井地区まちづくりの会より太鼓と法被を永井小学校に寄贈。子どもたちを支える地域の皆さんと、それに応える子どもたち。
これからも地域に根差し、継承されていくことを願います。

●今宮さんの空気砲

バン！あああ・・・！！
思わず立ち上がり、飛びつく、ふれる、大はしゃぎ。
煙マジック！箱の中の空気がドーナツ形になって飛び出す。科学の不思議と楽しさを体験した。



●宇津宮さんの茶道



静かな部屋にしゃしゃしゃしゃ・・・と茶せん音。
優しい視線をおくる先生、緊張いっぱいの子もたち。この体験が後のち小さな宝ものになるのです。

●岩手飯岡駅ロータリー



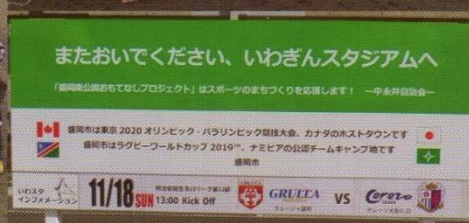
みんなで応援しよう



西口ロータリーおもてなし看板除幕式



10月28日



南公園線の街路樹

～ジュンペリー～
春咲く白い花が6月に小さな赤い実となる。
秋は紅葉が美しい。



西口ロータリー花壇



東口ロータリー秋じま

次回予告

- ①岩手飯岡駅東西自由通路について
- ②各班の活動あれこれを紹介
- ③その他

永井地区まちづくりの会に参加しませんか！？

永井地区まちづくりの会は、毎月最終月曜日（祝祭日の場合は火曜日）午後6時半から永井児童センターで定例会を行っています。
見学も大歓迎。興味のある方は是非お気軽にどうぞ。
ご意見・ご要望のある方は問い合わせ先にご連絡ください。

永井地区まちづくりの会情報紙は、まちづくりの会と一緒に参加している盛岡市・NPO(復興サポートオフィス)などの協力を得て作成されています。
今後も盛岡市・NPO・地域の協働のモデルケースとして、共に活動していきます。(情報紙編集 内田三千子・斎藤直子・岡野知子・但木正)